

やまがた認知症カフェ通信 2023 1月号

令和5年1月16日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

コロナ禍におけるカフェ運営の工夫について

現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動を休止したり運営の工夫に悩んだりしている認知症カフェも多いことと思います。8月から9月にかけて開催された「認知症カフェ運営者等情報交換会」でも、「会場実施の他、パソコンや電話等のオンラインでも実施している」「全てを非接触にすることだけではなく、『オンラインの参加者を受け入れる』といった姿勢が重要」等、コロナ禍におけるカフェ運営について意見がありました。

そこで今回は、コロナ禍におけるカフェ運営の工夫について紹介していきたいと思います。

例えば・・・

📄 広報誌、回覧版などでつながりを

⇒ 写真入りの広報誌を作成し、回覧版や郵送で配布

🏠 訪問活動でつながりを維持

⇒ 感染予防を徹底した上で、お便り等を持参して訪問

✉️ 手紙、電話、メールなどでつながりを

⇒ 簡単な文章や、イラスト・絵を入れたハガキを送付

💻 オンラインで認知症カフェを開催

⇒ タブレット端末を用いて、オンラインとオフラインを併用

また、認知症介護研究・研修仙台センターのホームページ (<https://www.dcnnet.gr.jp/support/cafe/>) では、つながりを継続するための工夫や運営形態について、「外出自粛時の認知症カフェ継続に向けた手引き」を紹介しています。ぜひご活用いただき、今後のカフェ運営について参考にしてください。

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

さくらんぼカフェで臨床美術体験会開催！

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家など、誰でも気軽に集える場所です。

さくらんぼカフェでは、以前講師の方を招いて、臨床美術体験会を実施しました。臨床美術とは、独自のアートプログラムに沿って創作活動を行う事により、脳が活性化し、認知症の症状が改善されることを目的として開発されたものです。感性に働きかけ、五感をフルに活用するのが特徴で、認知症の予防や改善、心の解放や意欲向上等、回復を目指します。絵が好きの人だけではなく、誰もが楽しめるアートということで、前回の体験実施後は大好評でした。

今回、コロナ禍ということで皆さんが集まる機会が少なくなっている中、さくらんぼカフェでは、令和5年2月9日（木）に「臨床美術」の催しを開催する予定です。出来上がった作品を並べ、語り合いながら楽しみませんか？

皆さんのご参加をお待ちしております！！



石を題材にして個々でイメージを膨らませ絵具でデザイン



小枝を貼り付けて秋のイメージをデザイン

福祉サービス利用援助事業のご案内

福祉サービス利用援助事業とは、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な人を対象に、福祉サービスの利用を援助することにより、利用者が地域において自立した生活を送れるよう支援するものです。

主なサービス内容は次の3点です。

1. 福祉サービス利用のお手伝い

- ①福祉サービスに関する情報提供、利用または利用をやめるために必要な手続き
- ②福祉サービスの利用料を支払う手続き・日常生活に必要な事務手続き
- ③福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの援助

2. 日常的な金銭の出し入れのお手伝い

- ①銀行などに行って年金や福祉手当、生活費の引き出しの支援
- ②公共料金や税金などの支払い、口座引き落としの手続き
- ③日用品等の購入代金を支払う手続き
- ④その他、書類や請求書類の整理などのお手伝い

3. 大切な書類等のお預かり

希望された場合は、大切な書類や預金通帳、印鑑、年金証書などをお預かりします。

本事業は、社会福祉協議会の専門員と生活支援員がお手伝いします。

ご利用を希望される場合、お近くの市町村社会福祉協議会へ御相談下さい。



※山形県社会福祉協議会では、専門員と生活支援員へ定期的な研修を実施しています。

さくらんぼカフェ情報

さくらんぼカフェのご本人及び家族等の交流スペース

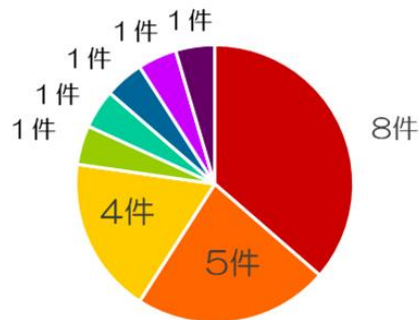
～電話相談・面接相談その後の関係機関が行う支援へのつながりから～

さくらんぼカフェでは昨年同様、感染対策をしながら面談等を実施しています。面談、電話相談件数としては、コロナ渦になる前の令和元年度の平均値と比較して、減少したままの状態が続いています。今回は、直近3ヵ月の相談の中で、相談後、どのような機関と連携したのかを集計してみました。

集計結果としては全体を通して、地域包括支援センターや市町村へつなぐ内容が多く占めている状態でした。

以前は市町村や医療関係、介護サービス等の連携機関がほぼ占めていたのですが、最近では上記以外の窓口につなぐ事も増えてきているという印象です。相談を受ける側も、沢山の連携機関があることで、相談に来られた方へより適切な情報提供ができるようになったと思います。今後も必要な情報発信をして参りたいと思います。

令和4年9～11月連携機関相談数



- 市町村の福祉課
- 地域包括支援センター
- 山形労働局
- 認知症カフェ
- 家族の会（他県支部含む）
- 認知症疾患医療センター
- 成年後見センター・後見人
- 難病相談センター

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時
 TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp
 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。